



会報



DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

きのこ

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30 - 13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 5775

会長 上野三郎
幹事 佐藤順治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ

SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第931号 1977.11.1 (火) (はれ) No.18

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 国歌 斉唱
3. ロータリーソング (奉仕の理想)
4. ビジター・ゲスト紹介会長
5. 会員及び奥様誕生祝 親睦活動委員会 安藤 君
6. 年間皆出席表彰 出席委員会 高橋 君
7. 会長 報告
8. 幹事 報告
9. ゲストスピーチ 山新論説委員 佐藤 三郎 氏
鶴岡と酒田の歴史
10. 出席 報告 出席委員会
11. 点 鐘

■ ビジター・ゲスト紹介

佐藤 五右工門 君 (請負業) 一温海 R.C
井上 彬 君 (建材販売) }
笹本 森雄 君 (ホテル) } 鶴岡西 R.C
上野 十九治 君 (空調設備) }

■ 会員及び奥様誕生祝

親睦活動委員会 安藤 君

会員誕生 風間慶三君、中村富昭君、佐藤衛君、鈴木善作君、丹下誠四郎君、
藪田誠樹君

奥様誕生 阿部清様(襄)、早坂左枝子様(源四郎)、小松久子様、菅原和子様、
菅美千代様、丹下せい子様、鷺田玲子様

■ 年間皆出席表彰

出席委員会 高橋 君

年間皆出席 15年間皆出席 新穂光一郎 君
1年間皆出席 高橋耕二 君

10月 125%出席 2名 張君、高橋(正)君

10月 100%出席 55名

皆川君、阿部(公)君、阿部(襄)君、安藤君、早坂(源)君、半田君、飯白君、石井君、石黒君、五十嵐(三)君、石川君、市川君、板垣(俊)君、海東君、玉城君、上林君、風間君、黒谷君、小池君、高橋(耕)君、小松君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、森田君、角田君、中江君、中野(重)君、中野(清)君、小野寺君、西海君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、鷺田君、笹原君、新穂君、内山君、丹下君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、迎田君、山口君、手塚君、富樫君、上野君、菅原君、中村君、諸橋君、吉野君、金沢君、佐藤(元)君

■ 会長報告

52.11.1 (火) 例会

- 11月7日～11月9日当地区年次大会に出席のため会長、副会長、幹事、副幹事が不在になるので次週11月8日の例会は鈴木弥一郎君に会長代理、中江亮君に幹事代理をお願いし司会、進行することに本日の定例理事会で決定した。
- 来る11月29日(火)の例会はクラブ細則により、一部の時間をクラブ年次総会に切り替えて、来年度の理事役員の指名について諮ります。又この席で当クラブ創立20周年記念行事についてもご意見をお聞かせ頂きます。
- かねて R.I 規定審議会の審議結果に対するクラブの賛否を回答するよう要請されていたが、規定研究会(メンバー6名)の意見を参考に、本日の理事会において「R.I 規定審議会の決定に反対しない」ことに決定した。
- R.I より10月17日書翰があり、最近の日本円対米ドル為替相場の変動に伴い、従来1ドル277円のレートを11月1日以降1ドル260円に調整する旨連絡があった。

■ 幹事報告

1. 例会日、場所、時間の変更

(1) 山形南R.C

来る11月1日(火)の当クラブの例会はクラブフォーラムのため次の通り変更

と き 11月1日 PM 5:30~
と ころ 例会場

(2) 酒田R.C

来る11月2日(水)の当クラブの例会は事務所見学のため、次の通り変更

と き 11月2日(水) PM 12:30
と ころ 住軽アルミニウム工業(株)

2. 会報到着

(1) 酒田R.C (2) 石巻R.C

3. 第258地区年次大会

ホスト 那覇R.C と き 1月13~14日

と ころ 那覇市民会館 登録料 ￥10,000

ご希望の方は事務局迄ご連絡下さい。

4. 鶴岡R.A.C創立5周年記念式典のご案内

(1) 時 時 11.26(土) 登録 5:30 午後6:00~

(2) 場 所 物産館 3階ホール

(3) 会 費 ￥2,500

(4) 申 込 11月8日迄事務局へ

5. 第3回クラブ協議会

(1) と き 11月15日16:00~18:00 (2) と ころ 山王閣

登録料 ￥2,500 各委員長義務出席

■ ゲストスピーチ

鶴岡と酒田の歴史

山新論説委員 佐藤三郎氏

歴史として伝えられている記録は時に誤り伝えられていることがある。酒田発祥にまつわる歴史、伝説として伝えられている徳尼公の伝説も全く誤り伝えられている。

今まで酒田港を開いたのは酒田36人衆の先祖が平泉滅亡の時、3代秀衡の妹徳の前に従って落ちのびて来た武士達が地侍となって港を開いたとなっておった。しかし秀衡には妹はいない、全くの独り子である。従って徳の前、後に徳尼と称して尼になったが、この女性は迷の人物とされていた。ところが、この女性は秀衡の未亡人で泉の方であろうということがほぼ確実になったが、だとすると4代泰衡の一子万寿丸を連れて逃れているのでこの少年の存在が不明で泉の方説も疑問となっていたが、最近、瀬戸内海の因島に万寿丸が長じて泰高と称し、その子孫が巻幡を姓として一族20数戸現存していることが判明した。万寿少年は羽黒山伏に護られて一時岩手県の太平洋岸に身をよせ、成長して京都に上り、後に因島に永住したとなっている。調査の必要があるけれども、これで大体酒田の徳尼公

は秀衡の妻泉の方であると断定してもよい、酒田発祥の歴史の第一頁を改めなければならぬ。

当時酒田は最上川の南岸にあったけれども明応元年から大永元年頃までの間に北岸に移り現在の町通りを開いた。それ以来港として次第に栄えたが、戦国時代、庄内でも戦乱があって興亡が続き、山形の最上義光が上杉と戦い、志村伊豆守が酒田を攻め東禅寺城をとり、城主となった。慶長8年酒田の港に大亀があがったので主人である義光に報告したところ吉兆であると喜び、城名を亀ヶ崎と改名し、大宝寺城を鶴ヶ岡とすることを義光が命じた。

やがて最上家が山形を改易となり、元和8年庄内に酒井家が入部した。酒田はそれまで坂田と書いていたが、酒井家の酒をとって酒田と書くようになった。茲来庄内は酒井家の治下となったが、入部に当って2城あるので居城が問題となったが重臣会議の結果、酒田は港町で将来とも交易が盛んで繁栄するだろう、鶴岡は殿様がいないと衰退する恐れがあるので居城を鶴岡に定め、それ以来、鶴岡が行政の中心地の城下町、酒田は港町として共に発展してきた。

酒田は最上川の舟航の起点で内陸との交流が結ばれ、寛文12年河村瑞賢の西廻り航路開発以来米の港として全国から船が集り、日本海岸における重要港として明治まで栄えた。

従って酒田は海や川の船を迎えて、他国の人を見ると客と思えといった風習が続き、一方鶴岡は城下町で極度に隠密の潜入を恐れ、排他的気風が自然と培われてきた。

廃藩になって既に百年、今ではそうした両市の気風も自然解消したようなものの何かの場合、顔をのぞかせる場合を見る。酒田での大型店の受入れなど来るもの担まずという気風が見られるのに、鶴岡では頑として受入れない面もっている。現在酒田に櫛引あたりからも車を連ねて買いものに来ている現況からみても、また復興酒田の商店街の開発を目前にして果して鶴岡は拒み続けて昔ながらの商法で対抗できるものであろうか。庄内は両市が接近しているだけに、手を取り合っって庄内全体の発展を考えなければならない時であろう。港の開発は単に酒田、庄内だけのものだけでなく山形県の将来につながる今後のカギを握るものと考えなければならない。

出席報告

本日の出席	会員数	70名	欠席者	半田君、飯白君、石川君、玉城君、中野(重)君、鷲田君、菅君、律田君、藪田君、佐藤(元)君
	出席数	60名		
	出席率	85.71%		
前回の出席	前回出席率	72.86%	マークアップ	皆川君、阿部(公)君、半田君、飯白君、石川君、板垣(俊)君、玉城君、風間君、三井(徹)君、中野(清)君、鷲田君一鶴岡西 R.C
	修正出席数	62名		
	確定出席率	88.57%		